

表 第14次5カ年規画期間中における経済社会発展の主要目標

類別	指標	2020年	2025年	年平均/累計	属性
経済成長	GDP成長率(%)	2.3	-	合理区間内に維持、毎年現状に基づき設定	所期性
	労働生産性増加率(%)	2.5	-	経済成長率を上回る	所期性
	常住人口都市化率(%)	60.6*	65.0	-	所期性
イノベーション駆動	R&D経費投入増加率(%)	-	-	>7、投入強度が「十三・五」期間の実際値を上回るよう努める	所期性
	1万人当たりの価値の高い発明特許保有量(件)	6.3	12.0	-	所期性
	デジタル経済コア産業増加値のGDP比(%)	7.8	10.0	-	所期性
民生福祉	住民一人当たり可処分所得増加率(%)	2.1	-	経済成長率と同様	所期性
	都市調査失業率(%)	5.2	-	<5.5	所期性
	生産年齢人口平均教育年数(年)	10.8	11.3	-	拘束性
	千人当たり開業(アシスタント)医師数(人)	2.9	3.2	-	所期性
	基本養老保険加入率(%)	91.0	95.0	-	所期性
	千人当たり3歳以下乳幼児預かり枠数(個)	1.8	4.5	-	所期性
	1人当たり平均寿命(歳)	77.3*	-	[1.0]	所期性
グリーン生態	単位GDP当たりのエネルギー消費量低下率(%)	-	-	[13.5]	拘束性
	単位GDP当たりの二酸化炭素排出量低下率(%)	-	-	[18.0]	拘束性
	地級市以上の都市空気質量優良日の割合(%)	87.0	87.5	-	拘束性
	地表水質量Ⅲ類に達する或いはそれよりも良い水の割合(%)	83.4	85.0	-	拘束性
	森林カバー率(%)	23.2*	24.1	-	拘束性
安全保障	食糧総合生産能力(億トン)	-	>6.5	-	拘束性
	エネルギー総合生産能力(億トン標準炭換算)	-	>46	-	拘束性

(注1)カッコ内は5年間の累計数字。

(注2)*は2019年データ。

(注3)エネルギー総合生産能力は石炭、石油、天然ガス、非化石エネルギー生産能力の和。

(注4)2020年地級市以上の都市空気質量優良日の割合と地表水質量Ⅲ類に達する或いはそれよりも良い水の割合は、新型コロナなどの影響で例年より明らかに高い。

(注5)2020年労働生産性増加率は2.5%を予測値とする。

(注6)所期性指標は国の期待を反映している発展目標。拘束性指標は達成が義務付けられている目標。

(出所) 中華人民共和国国民経済・社会発展第14次5カ年規画と2035年長期目標要綱(案)を基に作成